

# 2023年第4四半期の国際収支統計

2024年2月27日 台湾中央銀行発表（仮訳）

## 概要

2023年第4四半期の国際収支は、経常収支が348.4億米ドルの黒字、金融収支が284.9億米ドルの純資産の増加、中央銀行準備資産が33.9億米ドルの増加となった。

## 内訳

### （1） 経常収支

経常収支の黒字額は、前年同期比117.4億米ドル増加となった。

- ①貿易収支は、前年同期比154.2億米ドル増加の308.3億米ドルの黒字となった。AIやその他の新興技術関連の堅調な業績と前年の低い基準の効果により輸出はプラス成長に転じた。輸入は企業が半導体設備への支出を削減したため減少した。
- ②サービス収支は、主に旅行支出の増加と貨物運送収入の減少により、昨年同期の6.4億米ドルの黒字から16.3億米ドルの赤字となった。
- ③第一次所得収支は、主に居住者の対外直接投資収入の減少により、前年同期比11.5億米ドル減少の69.5億米ドルとなった。
- ④第二次所得収支は、主に労働者の海外送金の増加により、対前年同期比2.7億米ドル減少の13.2億米ドルの赤字となった。

### （2） 金融収支

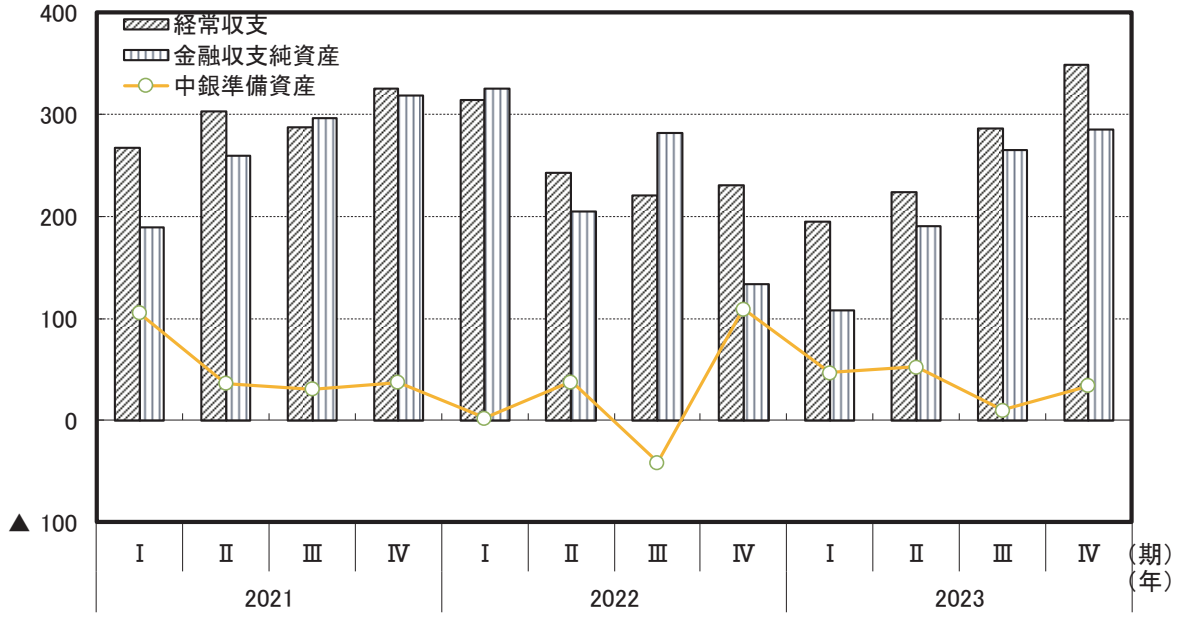
- ①直接投資は、純資産が90.7億米ドル増加。このうち、居住者による対外直接投資は100.0億米ドルの純増、非居住者による対内直接投資は9.4億米ドルの純増。
- ②証券投資は、純資産が37.2億米ドル減少。このうち、居住者による対外証券投資は、主に民間部門の外国債権の持分増加により、85.5億米ドルの純増。非居住者による証券投資は、主に外資の台湾持ち株量の増加により122.7億米ドルの純増。
- ③金融派生商品は、主にその他金融機関が金融派生商品の処分益を計上したことに伴う資産の減少を反映して、純資産が3.3億米ドル減少。
- ④その他投資は、主に銀行の海外支店の預金が増加したことにより、純資産が234.8億米ドル増加。

### （3） 2023年第1四半期及び第2四半期の国際収支概況

2023年通年の国際収支は、経常収支が1053.3億米ドルの黒字、金融収支が849.5億米ドルの純資産の増加、中央銀行準備資産が143.4億米ドルの増加となった。

(億米ドル)

### 国際収支の推移



出典：中央銀行発表を元に当協会作成